

※自己評価 A…とてもよく取り組んでいる B…ほぼ取り組んでいる
C…工夫・改善が望まれる D…改善が必要である

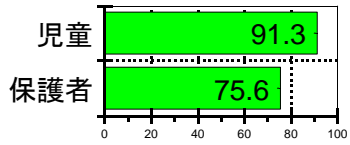
平成26年度 学校評価の結果 課題と改善策

「確かな学力」の育成

わかる授業

わかりやすく教えてくれる A

わかる授業の評価

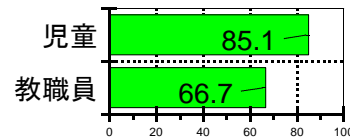


○子どもの興味、関心を高めるために、教材・教具や授業展開を工夫します。
○T.T.や少人数の指導体制を充実させます。
○具体物の操作や体験活動を通して実感を伴った理解ができるような授業を展開します。

基礎・基本の定着

基礎・基本定着への取組 A

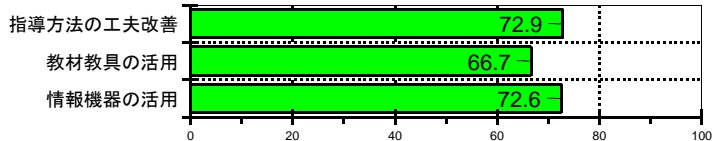
基礎基本定着の取組の評価



○漢字、計算のドリル学習をし、定期的に確認テストを実施します。
○ノートが丁寧にとれるよう全体指導、個別指導を継続します。
○朝の活動の時間を有効に活用し、くり返し学習に取り組む態度を育てます。

指導方法の工夫改善

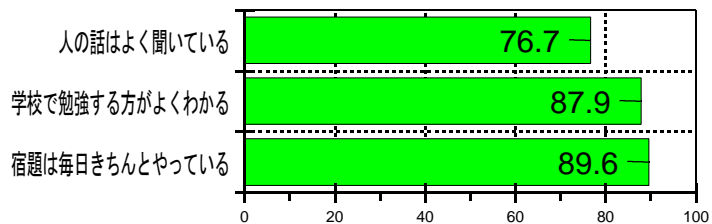
指導方法の改善に努めている B



○具体的な体験活動や言語活動の充実に努め、学び合い高め合う授業づくりを推進します。
○グループ学習を積極的に取り入れ、子ども同士で学び合う場を設定します。
○ICTを有効に活用し、わかりやすい授業を展開します。

学習習慣

学習習慣の定着 A



○「家庭学習の手引き」を活用し、家庭との連携を密にして、家庭学習の習慣化を図ります。
○朝の読書活動、本の読み聞かせ活動を充実し、学年に応じた目標冊数を設定することで、進んで読書しようとする態度を身につけさせます。
○正しい姿勢で学習する習慣を身につけさせます。
○相手の目を見て話を聞く態度を身につけさせます。
○家庭学習や学習用具の準備を点検することを習慣化させていきます。

信頼される学校づくり

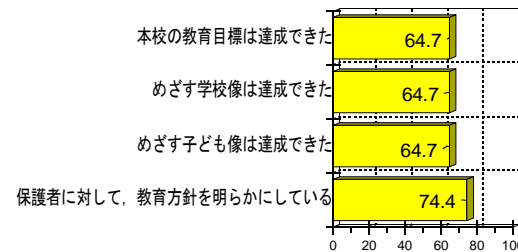
開かれた学校づくり A

- ◇子どもや保護者の悩み、相談に適切に対応している 75.6
- ◇保護者や地域住民に対して、子どもの状況を知らせることができている 84.5
- ◇保護者や地域住民の意見を聞き上げようとしている 73.5
- ◇保護者に対して学習内容や進みぐあいを知らせることができている 72.1
- ◇保護者や地域との連携はうまくいっている 72.6

○学校からの文書やホームページで情報をわかりやすく発信し、保護者や地域との連携を深めていきます。
○「チーム岩倉」を合い言葉に、学校・保護者・地域が一体となった教育活動を展開し開かれた学校経営を推進します。
○学校運営上の課題について、全教職員で共通理解し協力して取り組んでいきます。

学校教育目標

知・徳・体の調和のとれた人間性豊かであるとともに、人権感覚に優れ、力強く未来を切り拓いていく実践力のある児童を育てる。

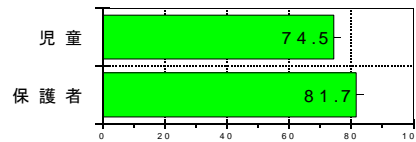


「健やかな体」の育成

健康・体力

健康づくり A

健康づくりへの取組の評価



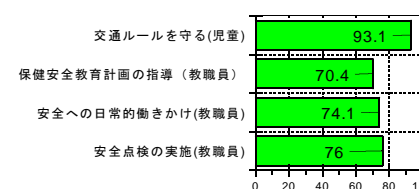
- ◇給食を好き嫌いせず、残さないようにきちんと食べている 84.0
- ◇休み時間には、元気よく、仲よく遊んでいる。 91.1

○歩くことや休み時間の運動を奨励し、進んで体を動かし、体力の向上を図ります。
○基本的な生活習慣の定着と食育を通じて給食を好き嫌いなく食べることができるよう啓発・指導していきます。

安全・安心な学校づくり

安全・安心

安全・安心の取組 A



○安全に関する学習を継続的に行い、「学校安全の日」や「安全朝会」等の機会を活かして安全に対する意識を高めます。
○定期的な点検で安全な学習環境を整えるとともに、非常時に対応できるよう全教職員が共通理解を図り、体制を整えます。

保護者・地域との連携

PTA活動 A 幼小中の連携 B

地域との連携 A

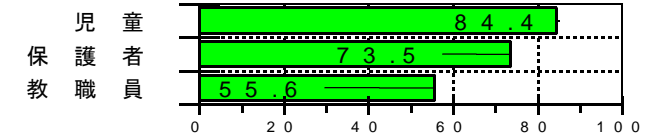
○PTA役員会等で検討し、魅力あるPTA行事を開催できるようにします。
○幼・中や地域と連携した体験活動を基盤とし、岩倉地域の特色を生かした教育活動を推進していきます。
○地域の人材や施設と積極的に連携を図り、地域の教育力を有効に活用していきます。

「豊かな心」の育成

基本的な生活習慣

あいさつ・返事 B

あいさつ・返事の評価



○よいあいさつや返事の仕方を子どもに示し、日常生活の中で身に付くように具体的な指導に取り組んでいきます。
○集団生活における基本的な生活習慣が発達段階に応じて身に付くように指導していきます。

いじめのない温かい人間関係

いじめのない学校づくりへの取組 A

- ◇学校へ行くのが楽しい 児童 89.6 保護者 84.5
- ◇学校には仲のよい友だちがいる。 96.7
- ◇友だちのよいところを認め、思いやりの気持ちをもって生活できている。 87.2
- ◇学校にはつらいことがあるとき、声をかけてくれる人がいる。 87.0

○教師と子ども、子ども同士の温かい人間関係を構築できるよう家庭との連携を図り、いじめは絶対に許さないという毅然と態度で指導します。

道徳教育

道徳教育の推進 B

- ◇道徳的価値を内面的に自覚できるような指導方法の工夫改善に努めている 71.1

人権教育・特別支援教育

人権教育・特別支援教育の推進 B

- ◇子どもの発達段階や生活背景をきちんと理解し、全教科・全領域で人権教育の推進に努めている 68.8
- ◇差別や偏見のない学級集団づくりに努めている 71.5
- ◇学習が遅れがちな子どもに適切な支援をしている 70.9
- ◇子どもたちの個性を把握し、適切な支援をしている 75.4

○規範意識や生命の尊重、自尊感情や他者への思いやりを重点におき、一人一人がよりよい生活が送れるように育んでいきます。
○自分たちの生活の中で、差別や偏見に気づき、発達段階に応じて人権問題を解決しようとする意欲と態度を育てます。
○児童一人一人の特性や教育的ニーズを把握し、個に応じた適切な支援に努めていきます。

生徒指導

生徒指導の推進と充実 A

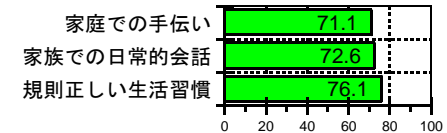
- ◇様々な問題行動の発生時に組織的に対応できる体制の整備 77.8
- ◇問題行動防止のための早期指導への学校全体での取組 76.0
- ◇生徒指導においての家庭・関係諸機関との連携 74.1

○問題行動の早期発見、解決に向け、家庭・関係諸機関と連携しながら職員一丸となって指導していきます。

家庭生活

家庭生活での取組 B

家庭生活（保護者）評価



○基本的な生活習慣について、発達段階に応じた指導を継続し、家庭と協力しながら指導していきます。